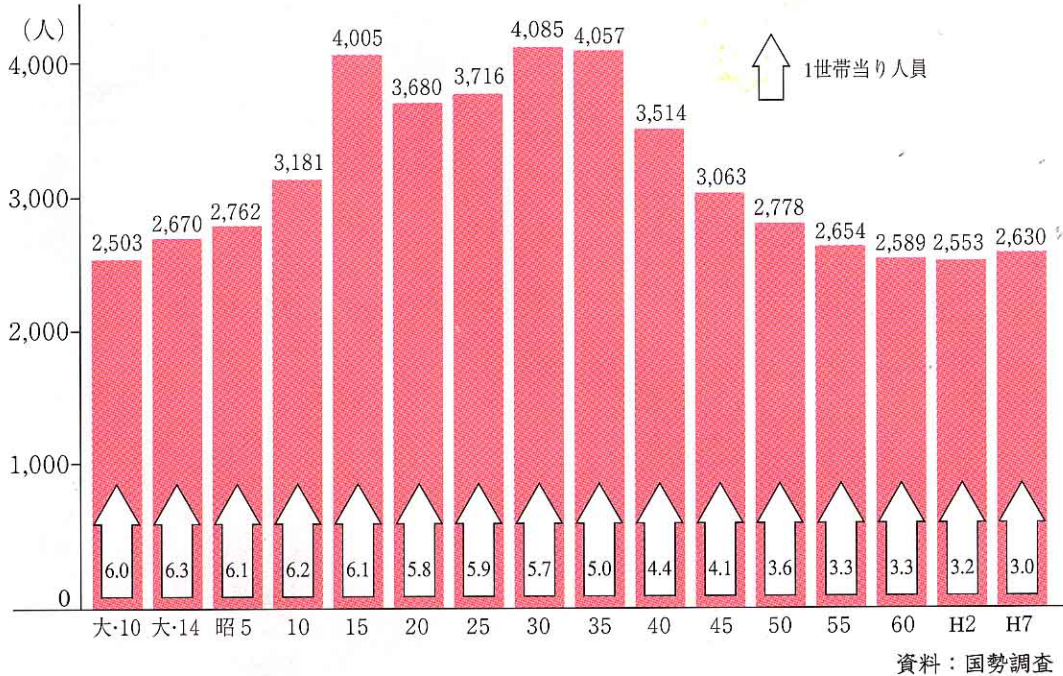


③ 人口のうつりかわり



④ 交通のうつりかわりとくらし

中山峠は明治20年になると、新道ろをつくる工事がすすめられ、昭和5年には、今のような峠になってきたということです。

道ろのうつりかわりの年表

| 明治時代 | | | 大正時代 | | 昭和時代 | | | | | | 平成時代 | | | |
|-------------------------|------|-----|----------------|------|------------------|------|--------------------|------|--|------|---|---|---|--|
| 百二十年前 | 百十年前 | 百年前 | 九十年前 | 八十年前 | 七十年前 | 六十年前 | 五十年前 | 四十年前 | 三十年前 | 二十年前 | 十年前 | 今 | | |
| ○中山峠の道路づくりがはじまった。(明・23) | | | ○馬車がさかんに利用された。 | | ○じてん車がいっただ。(大・3) | | ○中山峠の道路が完成した。(昭・5) | | ○バイクが入った。(昭・30) ○バスがおるようになった。(昭・27) | | ○中山トンネルができ開通した。(昭・49) ○道路をほそうする工事がはじまった。(昭・42) ○道路をととのえる工事がはじまった。(昭・37) | | ○会津高原駅ができ、野岩線が開通。(昭・61)、野岩線が完成 ○磐斗戸バイパス完成(平・8) | |